

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・たばこの免許が下りたことが徐々に知れわたり、カートン買いの予約が入るなど、来客数、客単価の上昇につながっている。
		その他レジャー施設〔アミューズメント〕（職員）	販売量の動き	・来客数、客単価、売上共に伸びている。特に深夜帯の来客数増が顕著である。
	やや良く なっている	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・景気のよし悪しというより、現状に慣れたのがあきらめなのか、必要な物は購入しようという動きがみられる。半消耗品である家電製品も高価な物になると量販店より地域店を指名してくれるようである。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・来客数の伸びは3か月前と変わらないが、全体の売上が2.5%増加しており、客単価は前年と同様の状況になってきている。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・秋物衣料が羽織物を中心に好調に推移している。トラベル関連商品は、特に国内用が前年比128%と顕著な伸びである。食品については、野菜価格が安定しているために鍋物材料が好調で、特にキムチ鍋スープが前年比125%、おでん種は前年比110%、中華まんは前年比108%と、季節商材の動きが好調である。
		スーパー（統括）	来客数の動き	・前年比107%強の来客数増が成績の好調に一番寄与している。買上点数の増加により、1人当たりの買上単価が伸び始めている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・今月中旬以降人通りが増えている。まだ悪いのでフリーの来客数がもう少し伸びれば良いが、宴会の予約状況は若干良くなってきている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・忘新年会の予約時期を迎え、問い合わせや予約が増えつつあるものの、例年よりも出足が鈍く、若干不安視している。飲酒運転に対する規制がより一層厳しくなっているため、会社あるいは部署単位の宴会も、アルコールを控えるか、強制的に宿泊させるか、どちらかを選択する会社が増えているようである。宿泊施設を併せ持つホテルとしては状況が好転する契機となる可能性がある。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・企業の社員旅行は相変わらず不調だが、小グループの客が増えている。
		タクシー（経営者）	お客様の様子	・夜間の動きが良くなってきたので、前年同月比6%の増収である。
		通信会社（営業担当）	単価の動き	・月を追うごとに客単価が上がってきており、新サービスの契約も一部を除き順調である。マーケットはまだまだ新たなサービスを求めている気配があるので、年末の商戦が楽しみである。
		遊園地（職員）	来客数の動き	・新規アトラクションのオープンにより、来客数が伸びている。
		ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・客単価はなかなか上がらないが、平日のゴルフコンペなどは多くなってきている。また、市場の会員権の動きも活発になってきている。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・今月に入り、不動産物件の引き合いが増えてきている。現実に町中の売り地が段々なくなってきて、それを探す人も大分増えてきている。ただ、金額はまだまだデフレ的要素が十分にある。安い物件はすぐ売れる状況にある。
変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・客は来店してもあまり商品を手にとらない感じだが、この時期しか買えない旬の物は高額でも買い求めていく。	
	商店街（代表者）	お客様の様子	・個人店の多い商店街には来客数が増加してきている。多くの客は安く早く高品質なものを求めており、口コミでそのような店へ人が流れている。	
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・来客数、販売量共にほぼ横ばいで、決してマイナスには動いていない。	

	スーパー（総務担当）	競争相手の様子	・周囲の競合店も含め、客入りが非常に良い。同業以外でみても、新しい店はかなり売上が良いようである。ただ、当店だけでなく同業店と比べても、良い店と悪い店の格差が大きく、客もあちらに行ったり、こちらに行ったりということ定着していない状況である。
	スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・前年に比べ気温が高めに推移しているため、衣料品の売上が前年比で93%と悪い。その落ち込み分を食品でカバーしているため、店全体の売上は前年並みである。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・売上、来客数共に前年比で10%減少しているが、客単価は105%と上がっている。
	家電量販店（店長）	単価の動き	・デジタル関連商品の薄型テレビやDVDレコーダーなどの単価が下がっている。パソコン本体については、依然として前年の数量を割っている。白物家電は微増である。
	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・景気を反映してなのか、普通乗用車から軽自動車に乗り換える客が増えている。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・廉価な車種のモデルチェンジに続き高級車種のモデルチェンジもあったが、廉価な車種みの販売台数が増え、高級車種の販売台数は増えないため、売上は多少増加しただけである。
	その他専門店 [携帯電話] (営業担当)	販売量の動き	・携帯電話の番号ポータビリティがスタートしたが、今のところ当地域ではあまり大きな動きはなく、景気や経営に影響するような動きにはなっていない。
	高級レストラン（店長）	来客数の動き	・10月下旬になっても暖かい日が続いたため、紅葉目当ての観光客など週末の集客が伸びていない。
	都市型ホテル（経営者）	単価の動き	・景気の底がみえたような気もしたが、客単価は伸びず、逆に下がっている。忙しいのに売上が伸びずに現状維持の状態である。
	タクシー運転手	来客数の動き	・秋の行楽シーズンということもあって、営業マンのほかに当地区への観光客もかなり来ていたので、徐々に上向いている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・相変わらず午後からの動きが悪いが、午前中に利用する客は増えている。
	ゴルフ場（副支配人）	来客数の動き	・夏の長雨に引き換え秋の天候が安定したことと、季節的な要因もあり、前年よりはやや下回っているものの、今のところ安定している。
	その他サービス [自動車整備業]（経営者）	来客数の動き	・前年比で1割以上の減少が続いている。入庫する車両も依然として古い年式が多く、若い年齢層の客が少ない。
	設計事務所（所長）	競争相手の様子	・当社や同業者を含め、建設関連業界は相変わらず低迷の域を脱出できずにいる。知事が変わった影響はすぐには出てこないし、3か月前と比べて変わらない。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・客の出足が悪く、来店しても余計な物は一つも買わないため、販売量がぐっと落ちている。世間で景気が良くなっているとの話だが、小売ではまだ実感できない。
	百貨店（総務担当）	来客数の動き	・約45キロ離れたところに大型ショッピングセンターが出店し、来客数が減少している。
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・天候がやや温暖傾向で、婦人服を中心に衣料品の動きが悪い中に加え、10月中旬に近くに大型ショッピングセンターがオープンし、来客数が激減して売上も非常に下がっている。
	衣料品専門店（経営者）	競争相手の様子	・近くに大型ショッピングセンターが開店したため、客の流れがそちらに向いている。一度そちらに向けた客の流れをもう一度こちらに戻すのは時間の掛かることであり、脅威に感じている。
	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・順当に寒くなり若干良くなることを想定していたが、天候不順であまりにも寒暖の差が日によって変わるため、客の出方がかなり悪い。来客数に相当影響を及ぼしているような状況なので、販売にも悪影響である。
	乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・展示会の広告、チラシ等を出すと必ずそれ相当の来客数、販売量があったが、2～3か月前に比べ、前月、今月は少しずつ来客数が減少し、販売量も落ち込んできている。

	観光型ホテル (スタッフ)	単価の動き	・秋の紅葉シーズンということもあり、この時期は比較的安定して早いうちに団体層の予約である程度埋まるのだが、今年はなかなか埋まらずに単価の安い客層を取らざるを得ない状況となっている。集客という意味では例年並みの利用者数となったが、単価落ちが激しく、売上高では例年を大きく下回る結果となっている。	
	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・宿泊に関しては昨年度のリピーター客を辛うじて獲得しているが、宴会や会議などの催しは例年よりかなり減少しており、宴会だけでも1,000万円ぐらゐのマイナスになる。	
	ゴルフ練習場 (経営者)	販売量の動き	・客は、最低限必要なものだけに的を絞って買物しており、余分な物は買わない。値段の選別も厳しい。	
	設計事務所(所長)	来客数の動き	・現在の仕事はあるが、3か月前に比べると情報量が減ってきている。	
	悪く なっている	衣料品専門店 (店長)	販売量の動き	・今月は総じて日中暖かい日が多いために、単価の高いニットやジャケット等の羽織物の動きが悪く、客単価、購買客数共に約13%落ち込み、売上も約25%減少している。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	
	やや良く なっている	食料品製造業 (製造担当)	それ以外	・製品原材料や石油製品関連の価格が若干下がり、利益確保につながっている。
		電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・4～9月までの売上は前年比3、4割減、ひどい時には5割減と非常に厳しい状況であった。10月は2～3割減とやや持ち直し、11月以降の受注残もようやく出てきて、仕事の話も大分復活してきたので、前年並みか1割減くらいで推移できそうである。前年と比べると良くないが、最悪の状態を脱し、以前よりは良くなっている。
		その他サービス業[情報サービス](経営者)	受注量や販売量の動き	・前月とあまり変わらないが、引き合い案件は増加傾向にある。
	変わらない	食料品製造業(営業統括)	取引先の様子	・ボージョレーヌーボーの季節を迎えて荷動きが活発になると期待していたが、各メーカーとも期待したほどの荷動きはない。
		電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・全般に安定した生産が続いている。
		輸送用機械器具製造業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・増収、増益で非常に良い。3、4か月はこのままの状況で変わらない。
		輸送業(営業担当)	取引先の様子	・荷動きはある程度良くなっているが、前年比を多少下回っている。暖冬の予測もあり、冬物商品等の動きが期待ほど上がっていない状況である。
		不動産業(管理担当)	受注量や販売量の動き	・事務所テナントの動きがないので、賃貸収入は変わっていない。また、特に大きな補修もない。
		新聞販売店[広告](総務担当)	受注量や販売量の動き	・1か月を通じて例月下旬の売上が大きく伸びるが、今月は伸びておらず、チラシ出稿量は前年比95%と低迷している。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・売上等経営成績面の業績は前年並みを達成している。景気の落ち着きを反映して利益を伸ばしているところもあるが、設備投資もできず依然として資金繰りに注意を要するところもある。
		その他サービス業[放送](営業担当)	受注量や販売量の動き	・減少傾向にあった商業、サービス業、不動産業からのスポットコマースが下げ止まってきている。地域の祭りや商業施設からのイベント受注は回復してきているが、受注競争が激しく、小口のイベントしか受注できないため、利益の確保が難しい状況にある。タイムコマースについては、自動車、電機産業を中心とした製造業からの受注は横ばいであるが、官公庁からの受注は3%程度減少している。
	やや悪く なっている	一般機械器具製造業(生産管理担当)	受注量や販売量の動き	・国内の油圧機器向け、建設機械向けの部品は引き続き好調を維持しているが、韓国の四輪駆動車向けの量産部品の受注が大きく落ち込み、回復が見込めない状況である。

		その他製造業 〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・業者対象の宝飾見本市は来場者、売上とも当初の目標を下回った。店頭販売も思わしくない。通常秋冬は商品が動く時期だが、在庫が売れていないため、新作を発表しても反応が鈍い。
	悪くなっている	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前の10月予想と実績を比較すると10%減、前年比での売上受注状況も10%強の減少となっており、月を追うごとに受注量が減少してきている。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・公共事業主体のため、公共事業削減の影響を受け続けている。民間工事の受注に力を注いでいるものの、新規開拓はまだみだである。9月決算処理中であるが近年にない大幅赤字になる。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求職者数の動き	・今月は電子、自動車関連、食品関係など生産関係において募集は活発であったが、求人数に対して求職者、人の動きは比較的少ない。周辺企業からも求職者は動かなかつたと聞いている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求職者数が減少傾向で推移しているところ、ここに来て求人数がやや増加しており、良くなってきたと思われるが、管内主要企業においては、依然慎重な姿勢の企業もある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が前年同月比で24%増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は多くないものの、少しずつではあるが中小零細企業からの求人申込が増加傾向になってきている。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・18年9月の紹介就職者数は、前年同月比で9.5%上昇し、8か月連続で前年同月を上回っている。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・派遣先からのオーダーは来ているが、派遣登録が少なくなっており、派遣するスタッフがなかなか決まっていこない。
		求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・求人広告を出しているが、極度に増えるという傾向でもない。ただ、今は広告を出しても、なかなか集まりにくいというのが現状である。年齢層を上げたり、条件の変更や給料の改善など、求人原稿の内容を変えるよう薦めている。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・けん引する製造業の求人は増加しているものの、採用が難しい技術開発職、専門職が多く、採用基準に満たない場合は、無理をしてまで採用するといった考え方はない。
		学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・予想していたほど、直接的な求人数は増えていない。ただし、企業を集めて行う会場ガイダンスへの企業数は増えているので、例年より遅くなってからの直接求人があるかもしれない。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・周辺企業で最近会社整理を行ったところが2社あり、景気の回復は不透明なままである。求人募集企業もやや少なくなっている。
	悪くなっている	-	-	-